

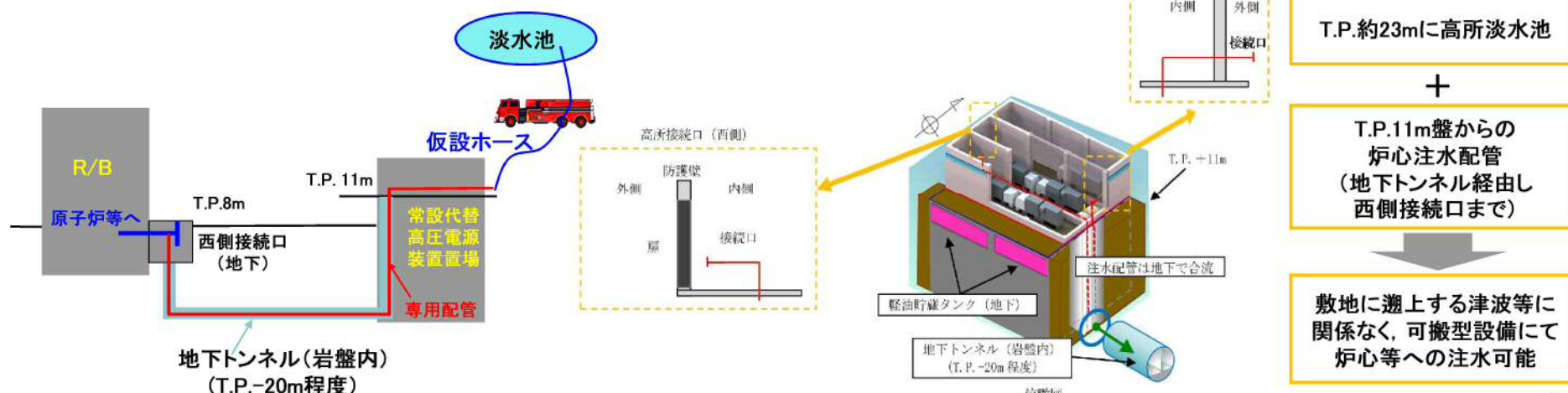
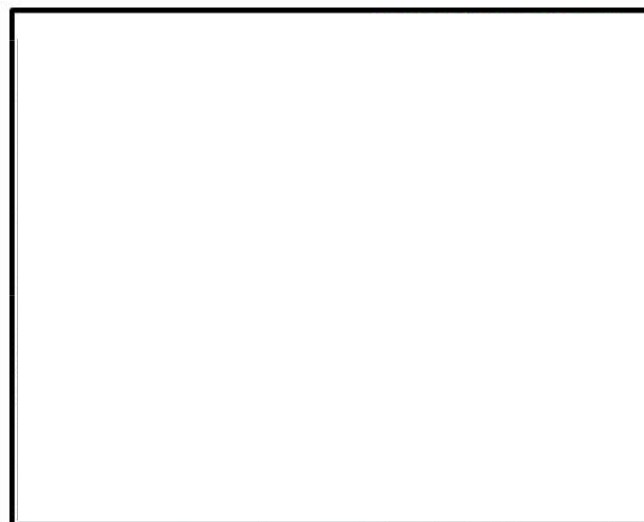
東海第二発電所 高所淡水池の扱いについて

平成29年9月26日
日本原子力発電株式会社

敷地に遡上する津波に対する可搬型設備の対応

【これまでの計画】

- TP.8m盤に2基設置を予定していた淡水貯水池のうち1基を、高台 (T.P.約23 m程度) に設置する計画としていた。
- 可搬型注水設備を用い高台淡水池の水を、常設代替高圧電源装置用の地下トンネル内に敷設する配管を経由して西側接続口から炉心等に注水することで、敷地に遡上する津波の影響を受けることなく対応可能である。



高所淡水池の扱い(変更)について

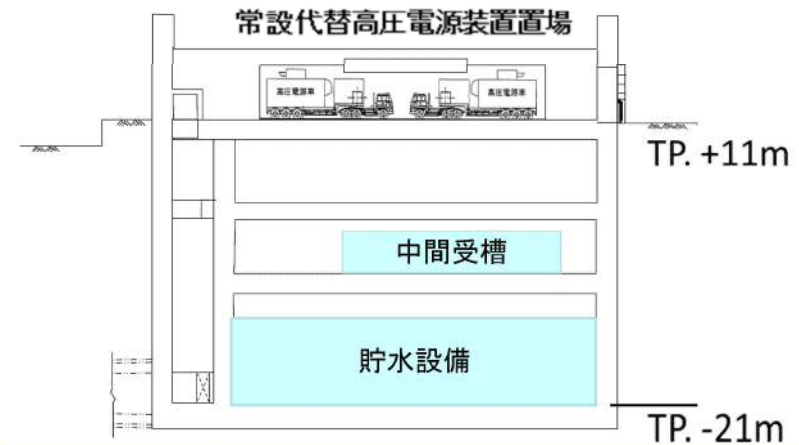
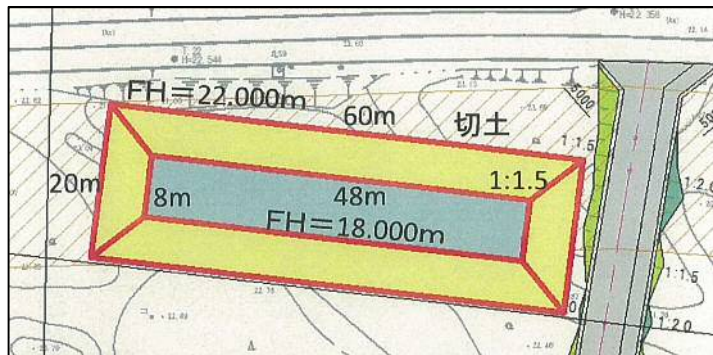


当初の計画

設置場所を変更

位置付け

- 代替淡水貯槽への補給水源
- 可搬型代替注水大型ポンプによる原子炉等への注水において、代替淡水貯槽が使用できない場合の水源

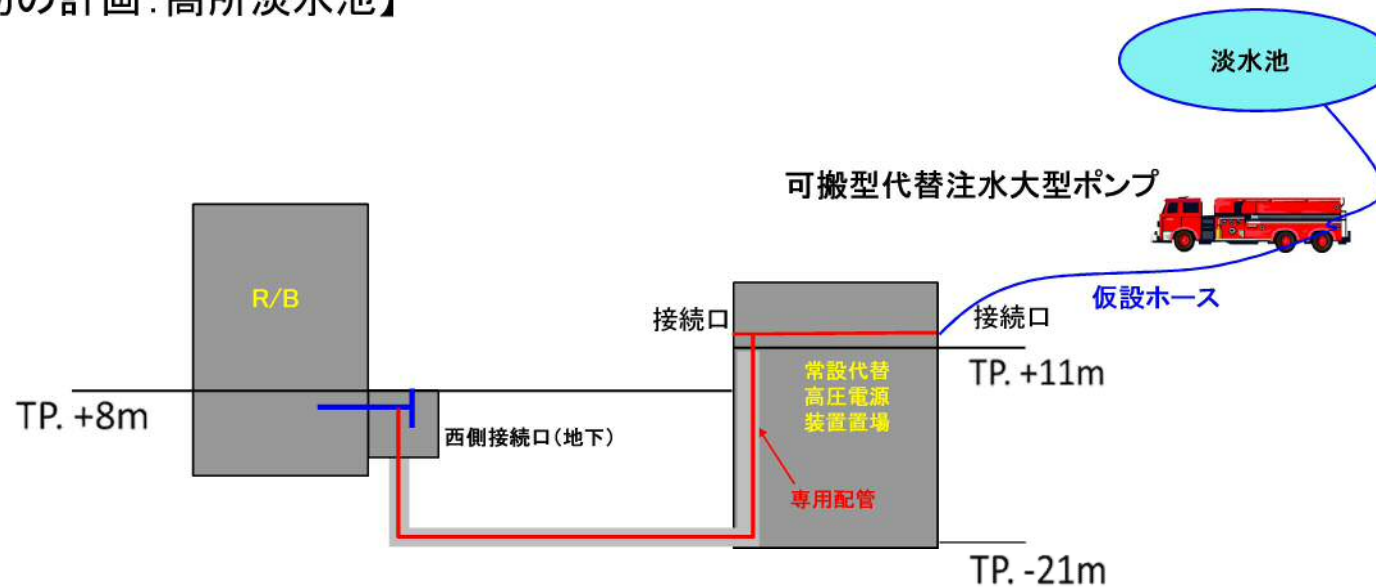


仕様	内容
扱い	措置(設置許可基準規則第56条)
構造	セメント改良土による築堤+内面遮水シート
容量	2,500m ³
寸法	20m×60m
設計考慮	Ssによるスロッシング評価 Ssによる安定性評価

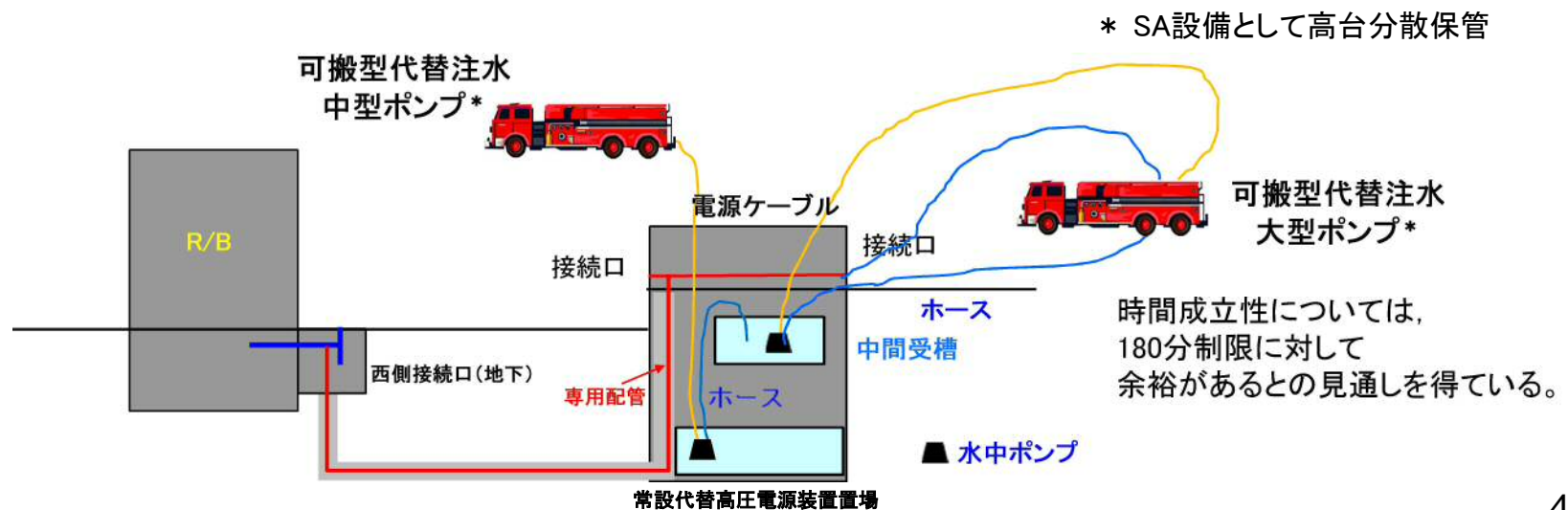
仕様	内容
扱い	SA設備(設置許可基準規則第56条)
構造	鉄筋コンクリート
容量	追而 (2,500m ³ 以上)
寸法	追而
耐震	Sクラス

高所淡水池の扱い(変更)について

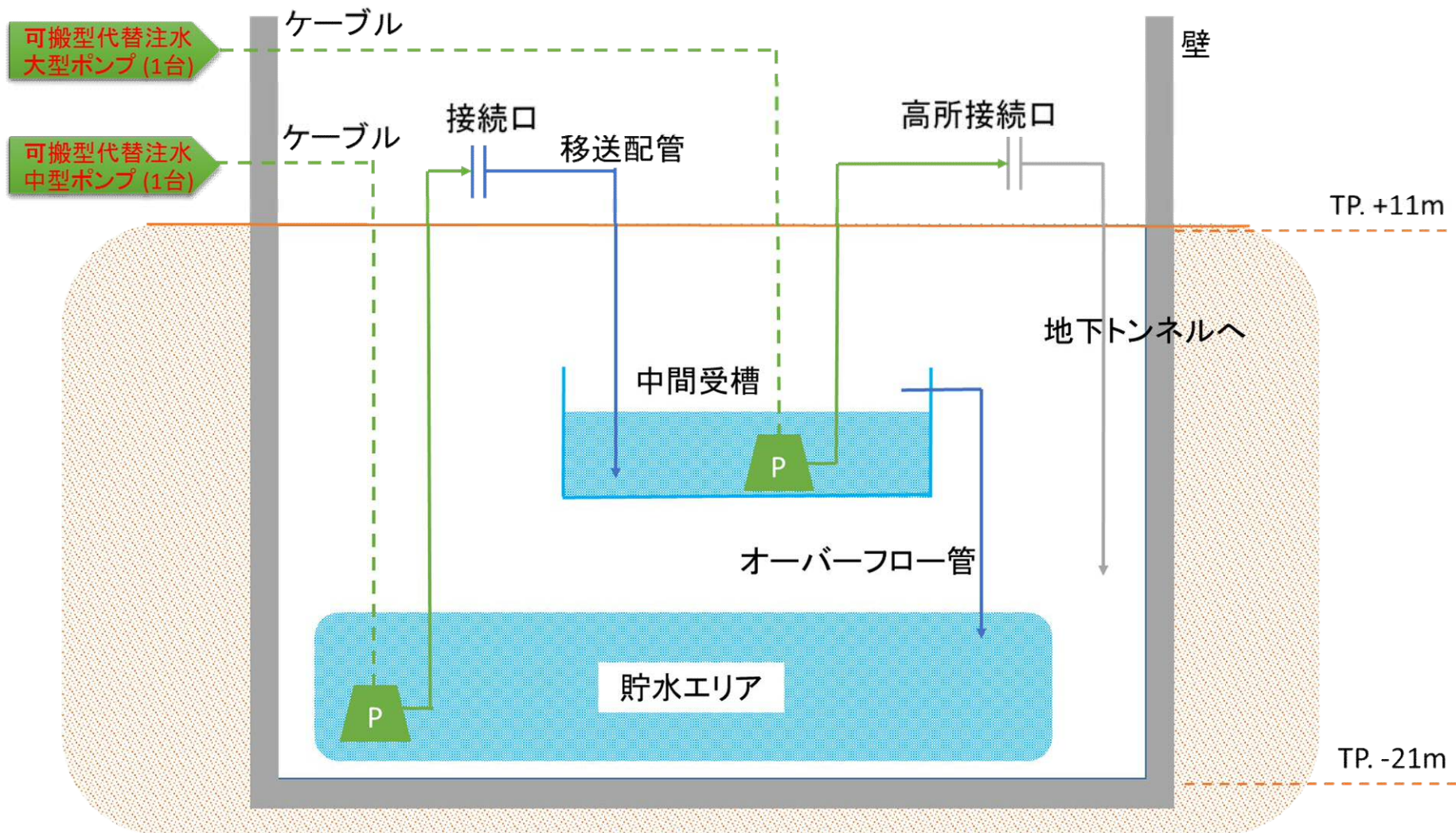
【当初の計画:高所淡水池】



【変更後:西側淡水貯水設備(地下)】



西側淡水貯水設備(地下)の概要



常設代替高圧電源装置置場